

聴く・おがわ防災

Keyword

リスク

あ|な|た|の|知|ら|な|い|危|険



昨年の台風19号では1,443人の方が避難場所を利用。議会にいただいた多くの声をもとに、改めて確認・活用してほしい情報をピックアップし、町民の皆さんに聴いてみました。



わかりやすくなった新しいハザードマップはこちら！

自宅にいます

台風被害は無いと思うし、室内で犬を飼っており、コロナ感染も心配なので自宅にいます。地震で家が全壊したら避難所に行くことを考えますが…

今井和夫さん(東小川4)

→避難とは「難を避ける行動をとる」こと。^{ワイス}「Withコロナ時代」を考えると、自分に合った避難場所を想定する必要があります。指定緊急避難場所（一時的に難を避ける場所）と、避難所（一定期間避難生活をする）の違いにも注意してください。

避難する？

台風19号では、避難したものの「パトリアにも水が上がってくるのでは」と、ヒヤヒヤしました。Wi-Fi環境もなくて、不便でしたね。

浅見久美子さん(腰二)

ヒヤヒヤしました

指定緊急避難場所

→本年度、指定緊急避難場所の見直し^{ワイス}が行われました。また、指定緊急避難場所へWi-Fi（P.4参照）を設置する予算を議決。現在、町は整備を進めています。

とにかく避難！

土砂災害の可能性を感じたら、ご近所で声を掛け合い、とにかく安全な場所に避難します。

松本啓一郎さん(木呂子)

→土砂災害の前兆は、水害と違い目に見えませんが、警戒情報発表前でも異変に気づいたら、直ちに安全な場所に避難を。自宅等の2階以上に移動する垂直避難なども有効な手段のひとつです。

土砂災害

警戒レベル

警戒レベルのことはよくわからないですが4や5になると危険という感じですかね。新しいハザードマップはわかりやすいですよ。

本倉絵璃奈さん(春日町)

→警戒レベルは5段階。レベル3は「高齢者等は避難」、4は「速やかに避難」、そしてレベル5は「町内で既に災害が発生！ 命を守る最善の行動を！」という意味です。

ハザードマップは



線状降水帯

40年で初めて

40年近くここに住んでいて、初めての出来事でした。道路工事の影響とも思いますが、もう少し降り続いたら床下浸水になったかもしれません。

黒沢雪雄さん(高見)

→積乱雲が連続して発生して線状に並び、経験したことのない大雨になります。県のサイトも活用して、適切な情報収集に心がけましょう。



埼玉県土砂災害警戒情報システム

持出品 備蓄品

台風19号の後で、子育て支援センターの講座で配布した「子育て版持出品」を参考にして色々そろえました。コロナ禍の持出品一覧もぜひ作ってほしいです。

小寺美沙子さん(青上)

→持出品・備蓄品は「いつも身の回りで必要なモノ」が、もしもの備えになります。常に一定量の食料等を家に備蓄しておく「ながら備える（＝ローリングストック）」に心がけ、万が一の際にも慌てないよう心がけましょう。

そろえました



議員の 間く×コはぐ

「できていますか？」 命を守る備え

台風19号…あれから1年

地球温暖化による影響で、短時間豪雨や大雨、土砂災害、水害の発生頻度が増加しています。

当町でも、昨年の台風では大きな被害を受けました。あれから1年…「小川町は安全なところだ」という安全神話にあぐらをかくことなく、これから訪れる台風シーズンに備え、命を守る行動をとりましょう。

安全神話に

クエスチョン



編集委員は、写真家やジャーナリストではない。もし、町民の人命が失われていたならば、恐らくこの写真はお蔵入りにいただろう。あと数時間、いや、あと数十分、台風19号が停滞していたら……。そんな想像力が、新たな防災対策と防災意識の向上に繋がる、と思い掲載しました。(2019年10月12日 15時30分撮影)



小川町議会だより

町民登場に「コタフル」

幅広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます(裏表紙も)ご覧ください。

次ページへつづく



指定緊急避難場所の見直し

廃止 角山中区集会所・靱負区民センター

追加 樺台中体育館